

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
 コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河村 洋介  
 (氏名) 原田 敬一

TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,127	40.1	82	—	90	—	77	—
26年3月期第3四半期	2,232	△8.8	△4	—	3	△43.6	△2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	22.82	—
26年3月期第3四半期	△0.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,742	1,263	33.8
26年3月期	3,292	1,195	36.3

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 1,263百万円 26年3月期 1,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	20.0	65	30.6	56	△3.8	45	△20.0	13.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	3,420,000 株	26年3月期	3,420,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	6,194 株	26年3月期	5,636 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,413,968 株	26年3月期3Q	3,414,671 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
受注高、完成工事高及び繰越工事高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の追加金融緩和策などにより、ばらつきはあるものの企業収益や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が長引き、また夏場の天候不順や円安進行による輸入物価の上昇などもあり、個人消費の本格回復にはほど遠く、景気回復の足取りは重い状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、また発注の前倒しにより公共工事が増加するなど受注環境に追い風が吹きましたが、需要増や円安による資材価格の上昇、さらに建設労働者確保の困難傾向の中、建設コストの上昇が見られ、また住宅投資が消費税増税前の駆け込み需要の反動により減少し、後半には公共工事も息切れ傾向が出てくるなど、採算性や受注競争において厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社は営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、引き続きコスト低減に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の受注高は、住宅投資の減少や受注価格競争の激化などから、民間建築分野での地盤改良工事の受注が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。主力の気泡コンクリート工事の受注が順調に推移したことから、工事全体の受注高は2,754百万円（前年同期比6.1%増）と増加し、売上高につきましても、前事業年度からの気泡コンクリート工事の繰越工事高が多かったことや施工も順調に推移したことから、工事全体の完成工事高は3,080百万円（前年同期比40.2%増）と大幅に増加し、商品販売を含めた全体の売上高は3,127百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

各段階の損益につきましては、施工効率の向上に取組むとともにコスト低減に注力した結果、営業利益82百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益90百万円（前年同期比2,318.9%増）、四半期純利益77百万円（前年同期は四半期純損失2百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業である建設業の特徴として、完成工事高の割合が第4四半期会計期間に偏るという傾向がありますが、当社の当事業年度につきましては、第3四半期会計期間の完成工事高の割合が多くなる見込みであります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ450百万円増加し3,742百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が128百万円、受取手形が103百万円、完成工事未収入金が149百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ381百万円増加し2,478百万円となりました。その主な要因としましては、支払手形が175百万円、工事未払金が39百万円、借入金金が120百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ68百万円増加し1,263百万円となりました。その主な要因としましては、当第3四半期累計期間に配当金の支払いを行いました。四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、気泡コンクリート工事の需要が多くあり受注が見込まれますが、工期が流動的なことから平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	541,211	670,182
受取手形	306,683	410,440
完成工事未収入金	942,487	1,092,389
売掛金	5,708	32,209
未成工事支出金	—	2,448
原材料及び貯蔵品	25,792	27,725
前払費用	13,815	16,966
繰延税金資産	8,877	4,483
その他	15,538	32,615
貸倒引当金	△148	△203
流動資産合計	1,859,967	2,289,259
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	58,952	55,456
構築物(純額)	150	117
機械及び装置(純額)	53,638	55,832
車両運搬具(純額)	226	4,137
工具、器具及び備品(純額)	4,401	4,852
土地	1,122,839	1,122,839
リース資産(純額)	35,867	45,563
有形固定資産合計	1,276,075	1,288,798
無形固定資産		
ソフトウェア	5,267	5,532
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	7,617	7,882
投資その他の資産		
投資有価証券	22,597	32,600
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	6,591	6,591
長期前払費用	3,023	3,015
繰延税金資産	4,019	1,727
敷金	13,999	14,127
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△22,006	△22,006
投資その他の資産合計	148,398	156,230
固定資産合計	1,432,092	1,452,912
資産合計	3,292,059	3,742,171

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	691,418	866,825
工事未払金	400,899	440,262
短期借入金	108,000	148,000
1年内返済予定の長期借入金	160,000	200,000
リース債務	8,065	11,643
未払金	51,858	50,026
未払費用	9,529	12,044
未払法人税等	9,557	6,456
未払消費税等	9,554	18,831
未成工事受入金	—	9,257
賞与引当金	18,168	5,374
完成工事補償引当金	674	3,802
その他	1,612	11,113
流動負債合計	1,469,338	1,783,637
固定負債		
長期借入金	395,000	435,000
リース債務	29,595	36,662
退職給付引当金	162,640	177,370
役員退職慰労引当金	39,824	45,515
固定負債合計	627,059	694,547
負債合計	2,096,397	2,478,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	985,000	985,000
繰越利益剰余金	△198,350	△137,499
利益剰余金合計	810,699	871,550
自己株式	△1,352	△1,529
株主資本合計	1,198,946	1,259,620
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,285	4,365
評価・換算差額等合計	△3,285	4,365
純資産合計	1,195,661	1,263,985
負債純資産合計	3,292,059	3,742,171

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,232,601	3,127,286
完成工事高	2,196,799	3,080,378
商品売上高	35,802	46,908
売上原価	1,847,073	2,644,379
完成工事原価	1,824,575	2,607,519
商品売上原価	22,498	36,859
売上総利益	385,528	482,907
完成工事総利益	372,223	472,858
商品売上総利益	13,304	10,048
販売費及び一般管理費	389,949	400,337
営業利益又は営業損失(△)	△4,421	82,569
営業外収益		
受取利息	26	40
受取手数料	227	245
受取配当金	5,631	646
受取技術料	9,428	15,651
雑収入	299	175
営業外収益合計	15,612	16,760
営業外費用		
支払利息	6,829	6,665
支払保証料	63	—
手形売却損	28	—
雑支出	510	1,703
営業外費用合計	7,431	8,368
経常利益	3,760	90,961
特別利益		
固定資産売却益	78	213
特別利益合計	78	213
税引前四半期純利益	3,839	91,175
法人税、住民税及び事業税	1,704	8,920
法人税等調整額	4,905	4,333
法人税等合計	6,609	13,253
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,770	77,922



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

## (1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,994,806	76.8	2,404,839	87.3	2,831,130	78.8
地盤改良工事	599,378	23.1	349,107	12.7	756,881	21.1
その他工事	2,660	0.1	600	0.0	2,660	0.1
合計	2,596,844	100.0	2,754,546	100.0	3,590,672	100.0

## (2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,671,216	76.1	2,716,557	88.2	2,519,647	76.8
地盤改良工事	522,922	23.8	363,220	11.8	759,549	23.1
その他工事	2,660	0.1	600	0.0	2,660	0.1
合計	2,196,799	100.0	3,080,378	100.0	3,281,857	100.0

## (3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間末 平成25年12月31日		当第3四半期累計期間末 平成26年12月31日		前事業年度末 平成26年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	795,446	87.1	471,622	95.1	783,340	95.3
地盤改良工事	117,347	12.9	24,110	4.9	38,223	4.7
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	912,793	100.0	495,732	100.0	821,563	100.0